

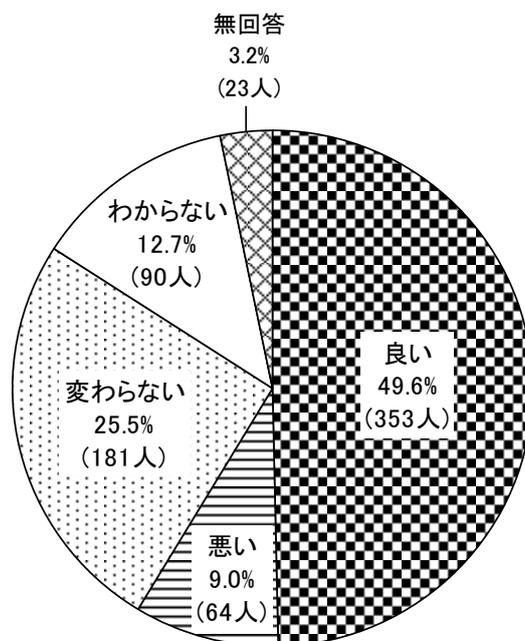
7. 地域社会の安全・安心（治安）について

（1）現在の治安状況

問 19 現在あなたが住んでいる地域（仮設住宅・借り上げ住宅も含む）の治安は良いと思いますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

該当者全体
(n=711)



現在の居住地の治安状況が「良い」（49.6％）と思う人は約5割となっている。一方、治安状況が「悪い」（9.0％）と思う人は1割未満となっている。また、「変わらない」（25.5％）が2割台となっている。

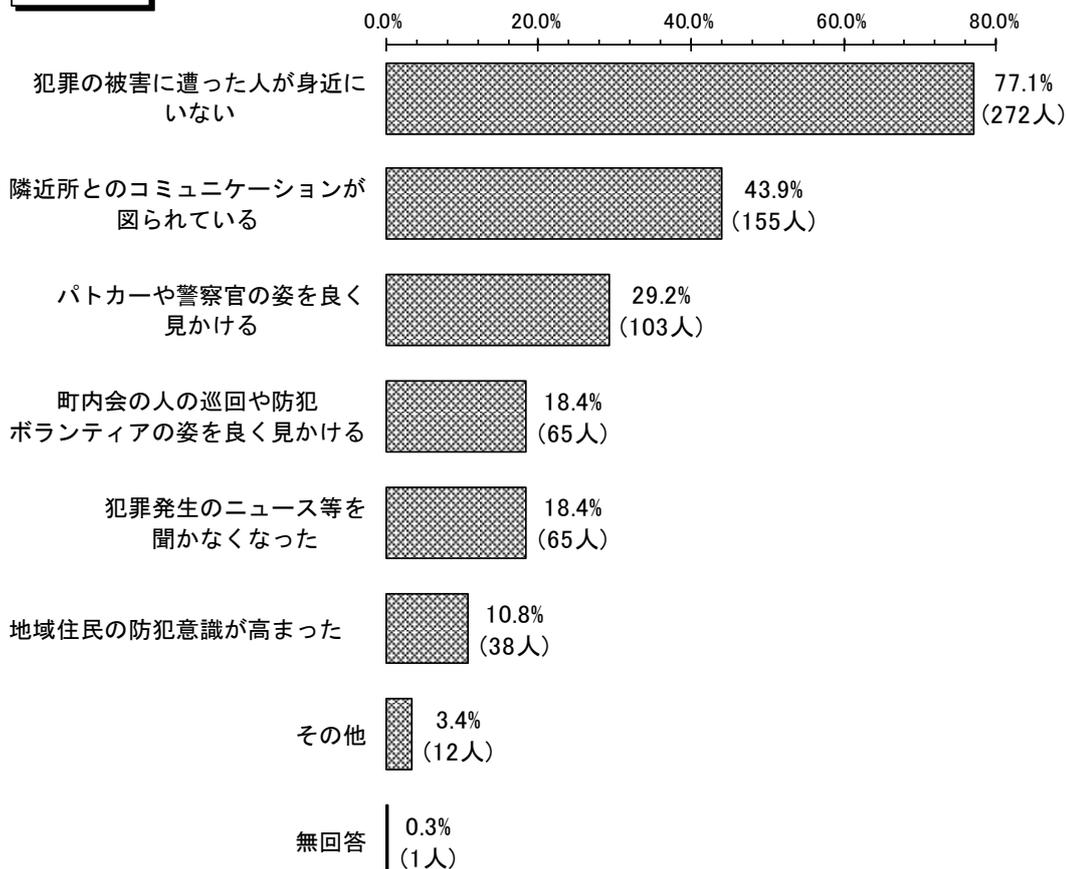
(2) 治安状況が良いと思う理由

(問 19 で、「1 良い」とお答えの方にお尋ねします。)

問 19-1 良いと思う理由は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

該当者全体
(n=353)



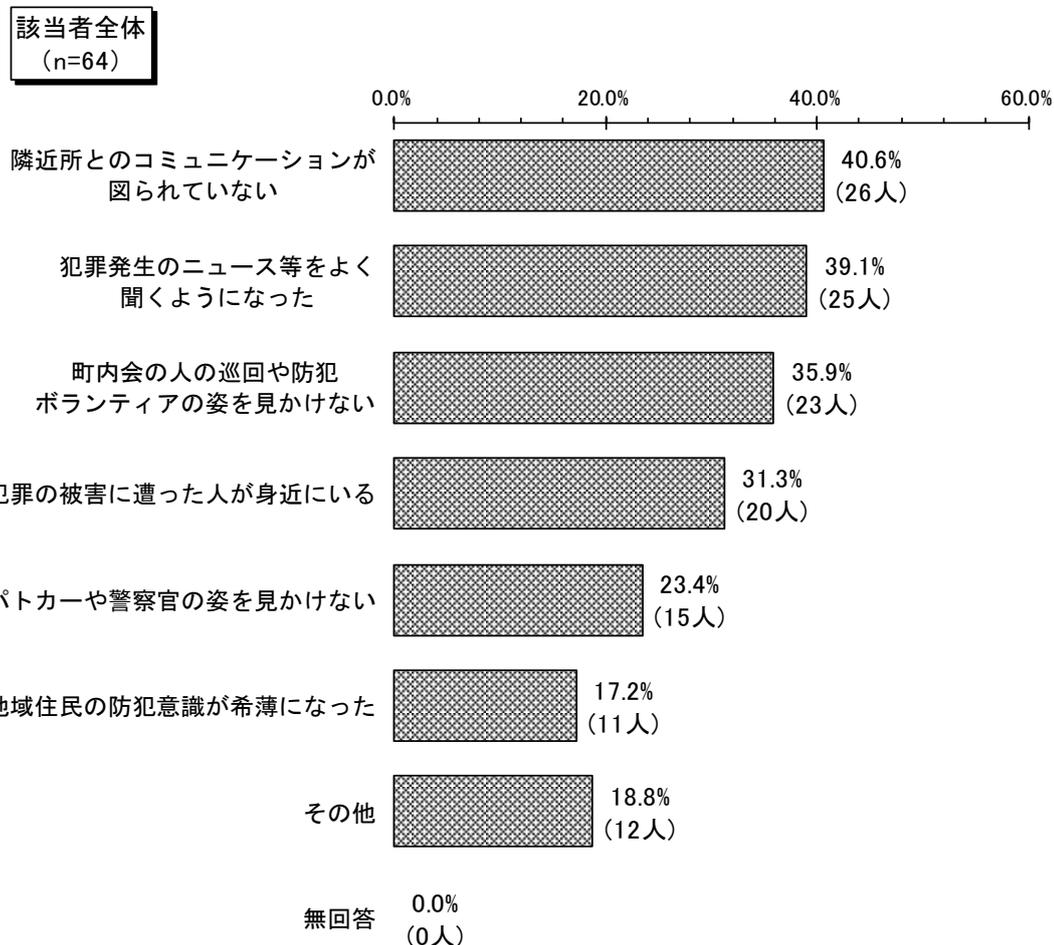
治安状況が良いと思う理由は、「犯罪の被害に遭った人が身近にいない」(77.1%)が最も多く、8割弱となっている。以下、「隣近所とのコミュニケーションが図られている」(43.9%)が4割台、「パトカーや警察官の姿を良く見かける」(29.2%)が約3割、「町内会の人や防犯ボランティアの姿を良く見かける」、「犯罪発生に関するニュース等を聞かなくなった」(各18.4%)、「地域住民の防犯意識が高まった」(10.8%)が1割台で続いている。

(3) 治安状況が悪いと思う理由

(問 19 で、「2 悪い」とお答えの方にお尋ねします。)

問 19-2 悪いと思う理由は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

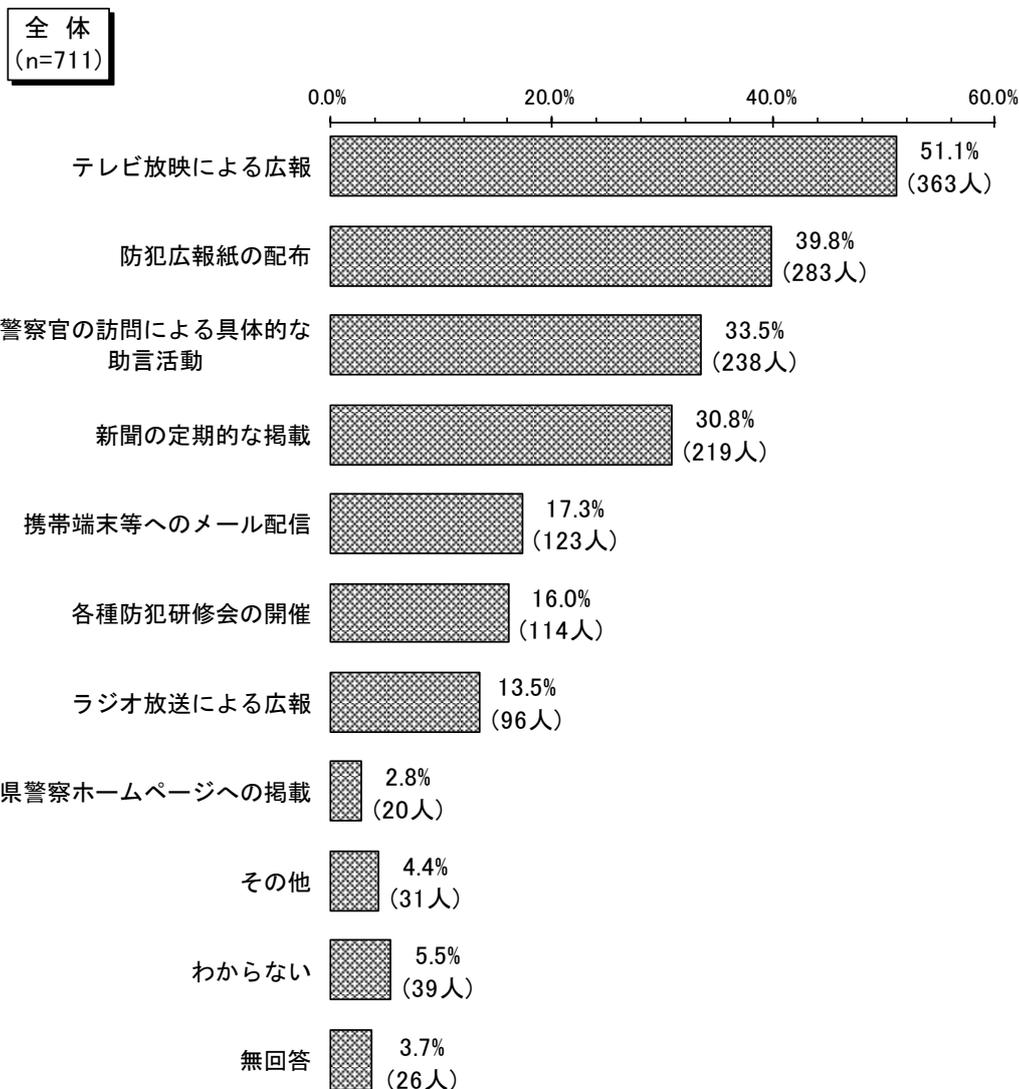


治安状況が悪いと思う理由は、「隣近所とのコミュニケーションが図られていない」(40.6%)が約4割で最も高くなっている。以下、「犯罪発生ニュース等をよく聞くようになった」(39.1%)、「町内会の人巡回や防犯ボランティアの姿を見かけない」(35.9%)、「犯罪の被害に遭った人が身近にいる」(31.3%)が3割台、「パトカーや警察官の姿を見かけない」(23.4%)が2割台で続いている。

(4) 犯罪の発生状況や防止方法等の情報の提供手段

問 20 犯罪の発生状況や犯罪を未然に防止する方法等の情報について、どのような形で提供されるのがよいと思いますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

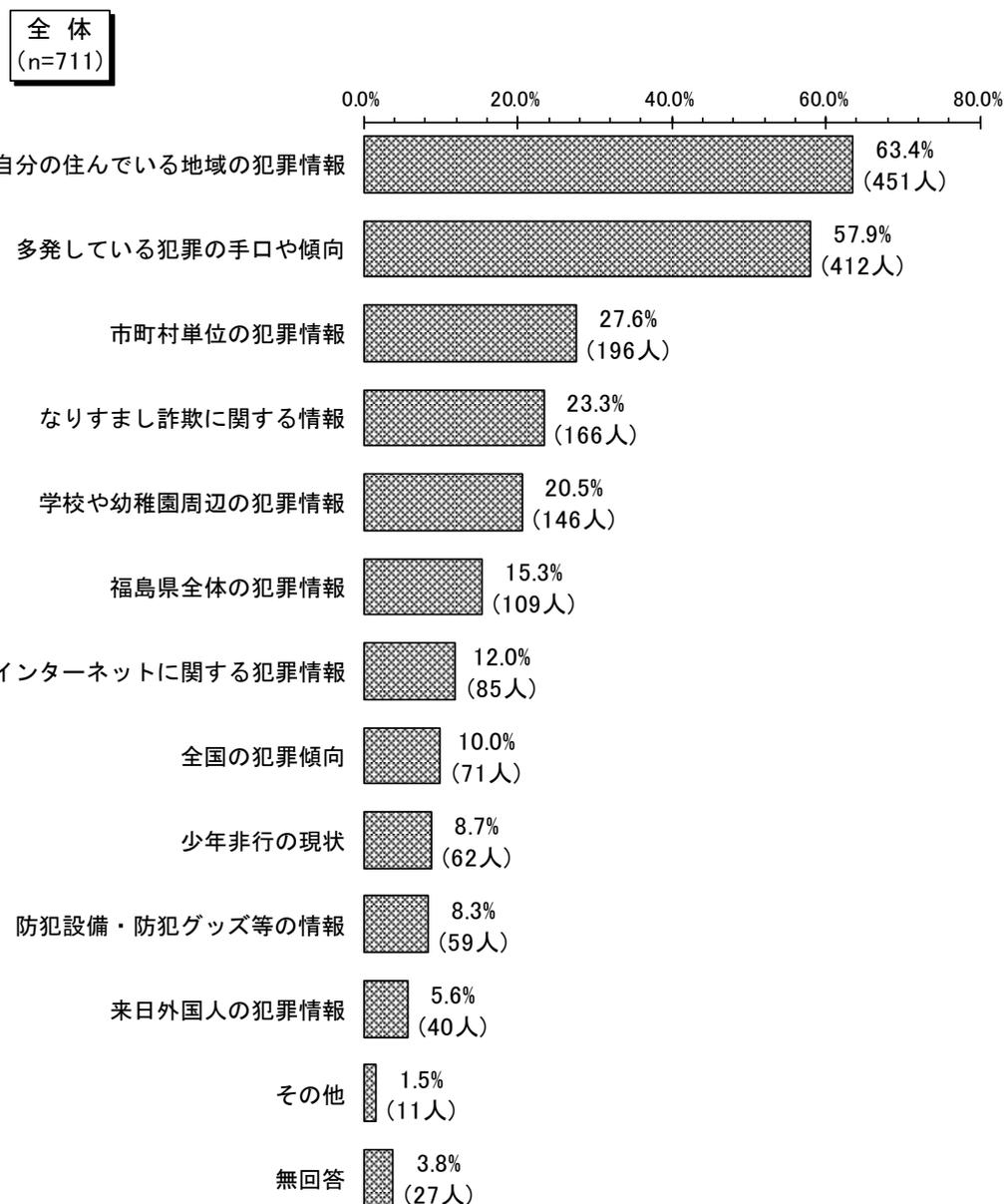


犯罪の発生状況や防止方法等の情報の提供方法については、「テレビ放映による広報」(51.1%)が最も多く、約5割となっている。以下、「防犯広報紙の配布」(39.8%)、「警察官の訪問による具体的な助言活動」(33.5%)と「新聞の定期的な掲載」(30.8%)が3割台、「携帯端末等へのメール配信」(17.3%)、「各種防犯研修会の開催」(16.0%)と「ラジオ放送による広報」(13.5%)が1割台で続いている。

(5) 犯罪に関して知りたい情報

問 21 犯罪に関するどのような情報が知りたいですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



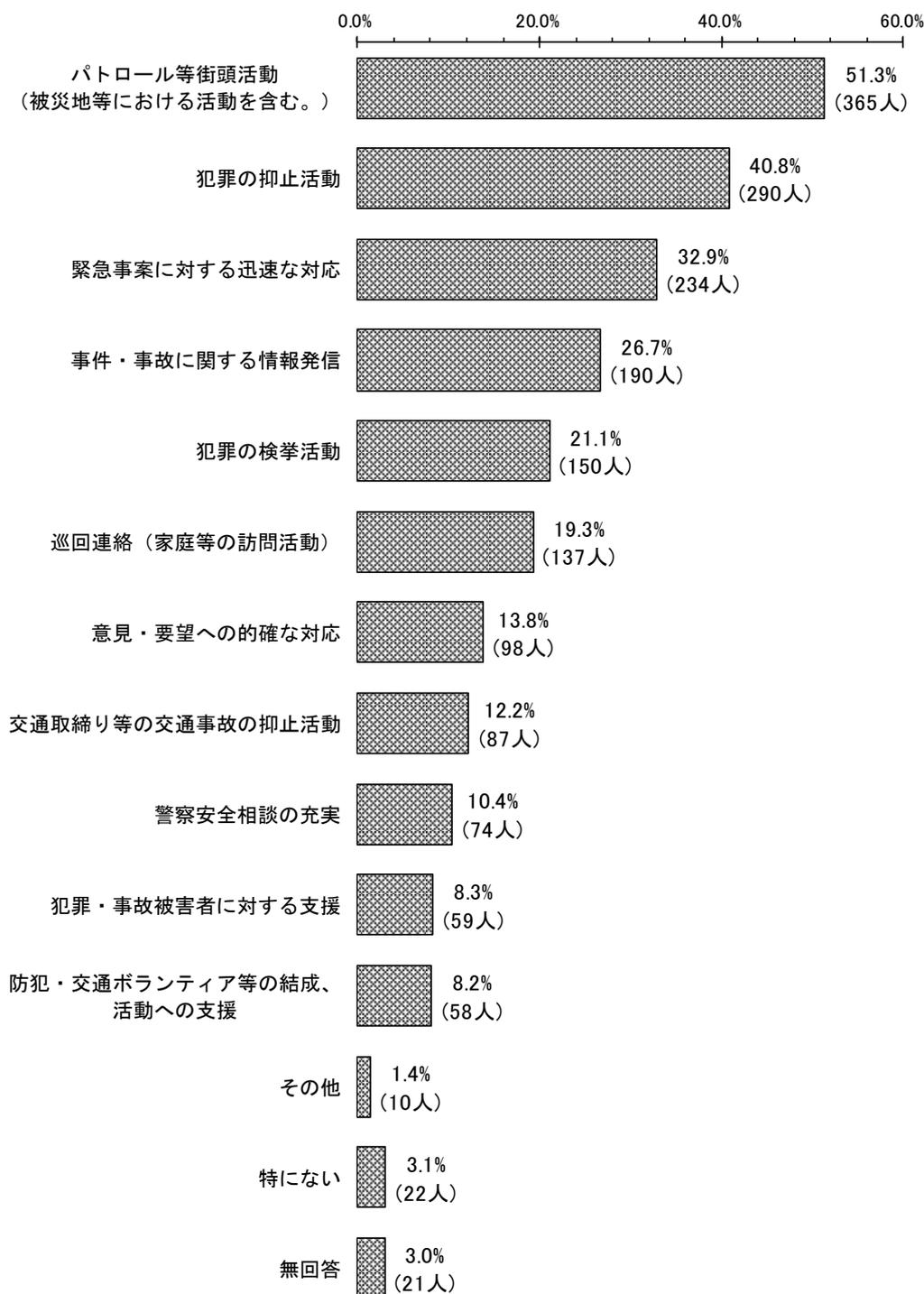
犯罪に関して知りたい情報は、「自分の住んでいる地域の犯罪情報」(63.4%)が最も多く、6割強となっている。次いで、「多発している犯罪の手口や傾向」(57.9%)が5割台で続いている。以下、「市町村単位の犯罪情報」(27.6%)、「なりすまし詐欺に関する情報」(23.3%)、「学校や幼稚園周辺の犯罪情報」(20.5%)、「福島県全体の犯罪情報」(15.3%)の順となっている。

(6) 警察に強化してほしい活動

問 22 安全・安心な地域社会をつくるため、警察にどのような活動を強化してほしいと考えますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

全体
(n=711)



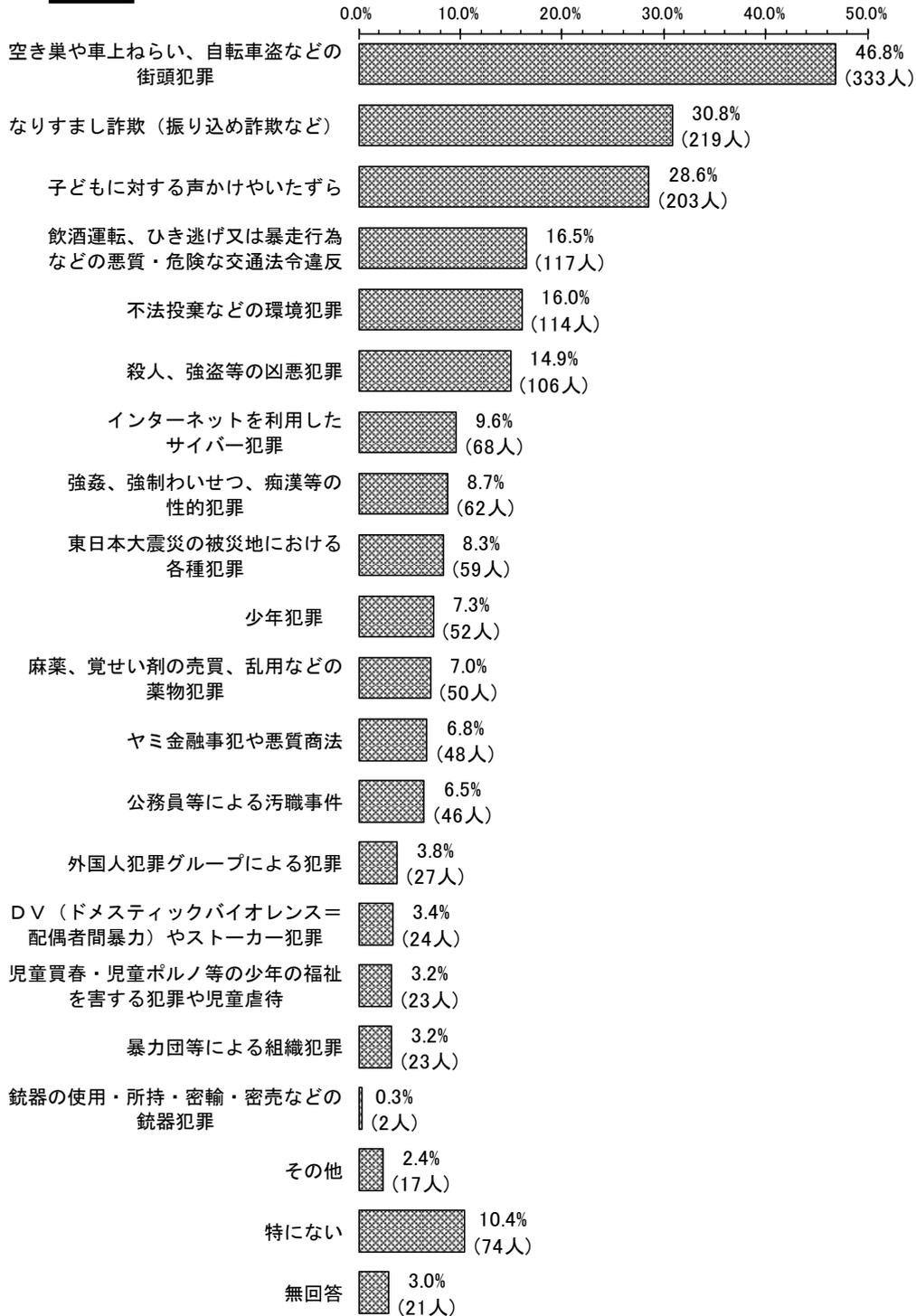
警察に強化してほしい活動は、「パトロール等街頭活動（被災地等における活動を含む。）」（51.3%）が最も多くなっている。以下、「犯罪の抑止活動」（40.8%）が4割台、「緊急事案に対する迅速な対応」（32.9%）が3割台、「事件・事故に関する情報発信」（26.7%）、「犯罪の検挙活動」（21.1%）が2割台、「巡回連絡（家庭等の訪問活動）」（19.3%）、「意見・要望への的確な対応」（13.8%）、「交通取締り等の交通事故の抑止活動」（12.2%）、「警察安全相談の充実」（10.4%）が1割台となっている。

(7) 重点的に取り締まってほしい犯罪

問 23 現在お住まいの地域で最も不安を感じ、今後重点的に取り締まってほしい犯罪は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

全体
(n=711)

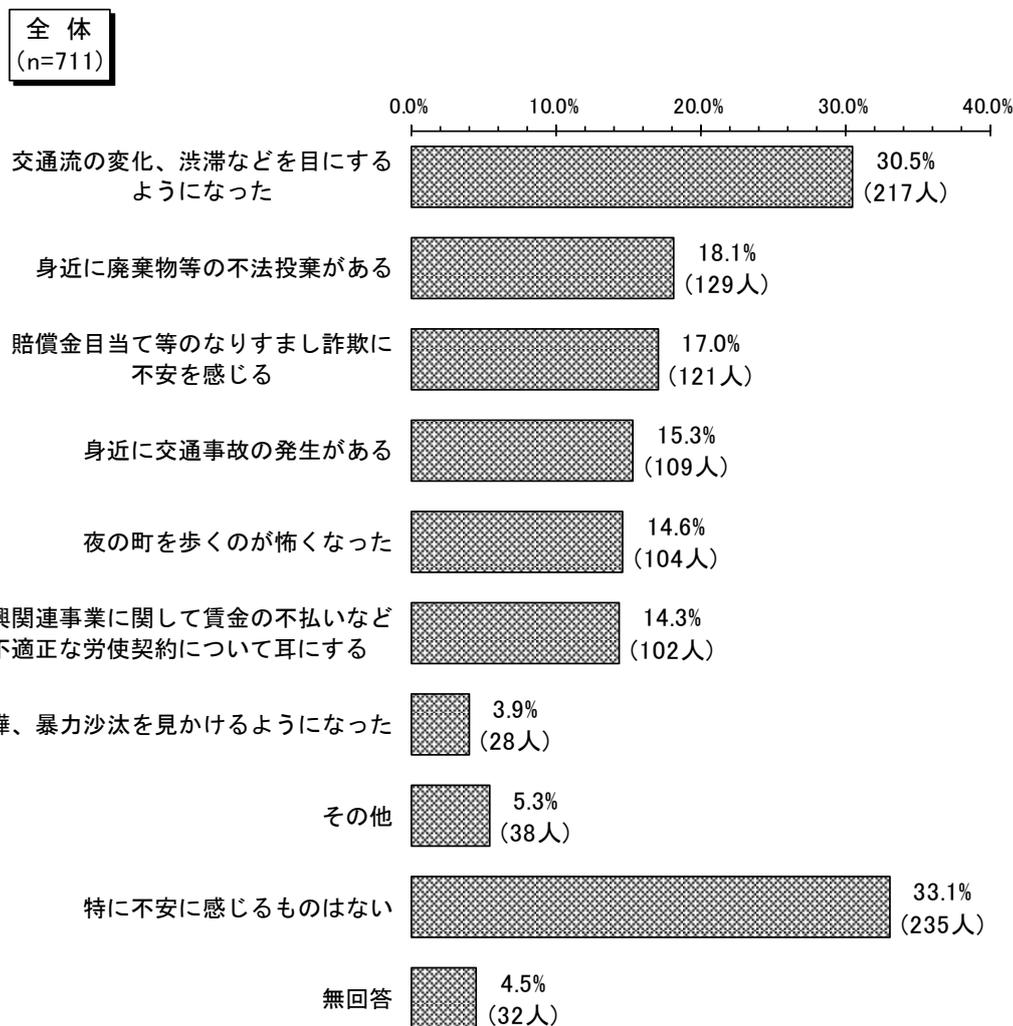


今後重点的に取り締まってほしい犯罪は、「空き巣や車上ねらい、自転車盗などの街頭犯罪」(46.8%)が最も多く、5割弱となっている。以下、「なりすまし詐欺(振り込め詐欺など)」(30.8%)、「子どもに対する声かけやいたずら」(28.6%)、「飲酒運転、ひき逃げ又は暴走行為などの悪質・危険な交通法令違反」(16.5%)、「不法投棄などの環境犯罪」(16.0%)、「殺人、強盗等の凶悪犯罪」(14.9%)が続いている。

(8) 身近に感じる不安

問 24 震災から6年が経過しましたが、復興に伴い治安面で身近に感じる不安は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



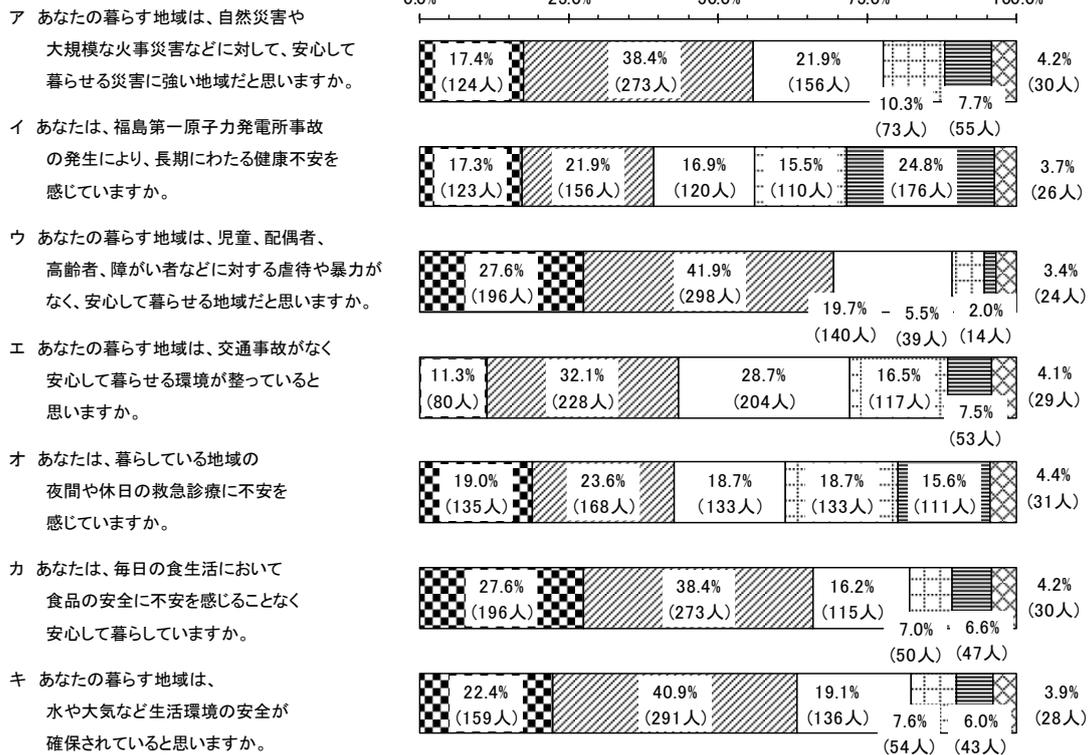
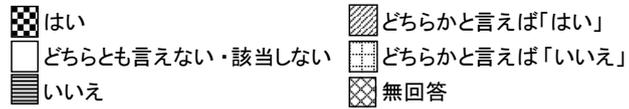
復興に伴い治安面で身近に感じる不安は、「交通流の変化、渋滞などを目にするようになった」(30.5%)が最も多くなっている。以下、「身近に廃棄物等の不法投棄がある」(18.1%)、「賠償金目当て等のならすまし詐欺に不安を感じる」(17.0%)、「身近に交通事故の発生がある」(15.3%)、「夜の町を歩くのが怖くなった」(14.6%)、「復興関連事業に関して賃金の不払いなど不適正な労使契約について耳にする」(14.3%)が1割台となっている。

8. 安全で安心な県づくりについて

(1) 安全・安心の現状

問 25 次にあげたア～キの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。
それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。

全体
(n=711)



「はい」と回答した人の割合をみると、〈ウ あなたの暮らす地域は、児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する虐待や暴力がなく、安心して暮らせる地域だと思いますか。〉と〈カ あなたは、毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。〉（いずれも 27.6%）が最も高くなっている。次いで、〈キ あなたの暮らす地域は、水や大気など生活環境の安全が確保されていると思いますか。〉（22.4%）が続いている。

「はい」と「どちらかと言えば“はい”」を合わせた『はい』計の割合をみると、〈ウ あなたの暮らす地域は、児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する虐待や暴力がなく、安心して暮らせる地域だと思いますか。〉（69.5%）が最も高く、約7割となっている。以下、〈カ あなたは、毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。〉（66.0%）、〈キ あなたの暮らす地域は、水や大気など生活環境の安全が確保されていると思いますか。〉（63.3%）が6割台、〈ア あなたの暮らす地域は、自然災害や大規模な火事災害などに対して、安心して暮らせる災害に強い地域だと思いますか。〉（55.8%）が5割台、〈エ あなたの暮らす地域は、交通事故がなく安心して暮らせる環境が整っていると思いますか。〉（43.3%）、〈オ あなたは、暮らしている地域の夜間や休日の救急診療に不安を感じていますか。〉（42.6%）が4割台、〈イ あなたは、福島第一原子力発電所事故の発生により、長期にわたる健康不安を感じていますか。〉（39.2%）が3割台となっている。

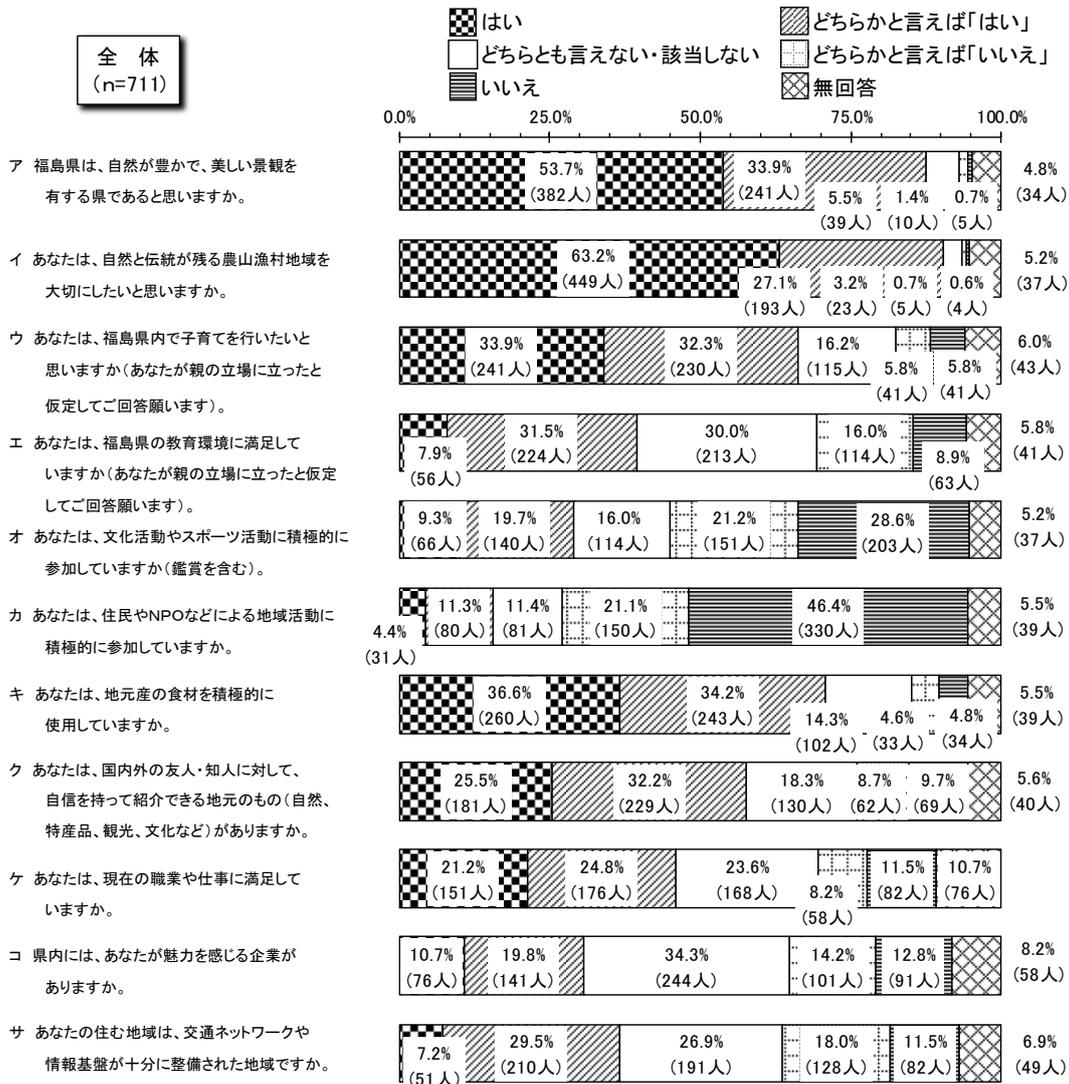
一方、「いいえ」と「どちらかと言えば“いいえ”」を合わせた『いいえ』計の割合は、〈イ あなたは、福島第一原子力発電所事故の発生により、長期にわたる健康不安を感じていますか。〉（40.2%）が最も高く、約4割となっている。以下、〈オ あなたは、暮らしている地域の夜間や休日の救急診療に不安を感じていますか。〉（34.3%）が3割台、〈エ あなたの暮らす地域は、交通事故がなく安心して暮らせる環境が整っていると思いますか。〉（23.9%）が2割台となっている。

9. 県総合計画について

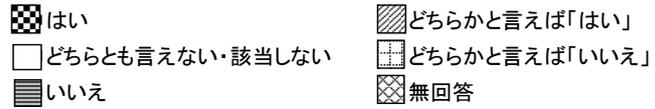
(1) 福島県の現状

問 26 次にあげたア～ヌの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。
それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。

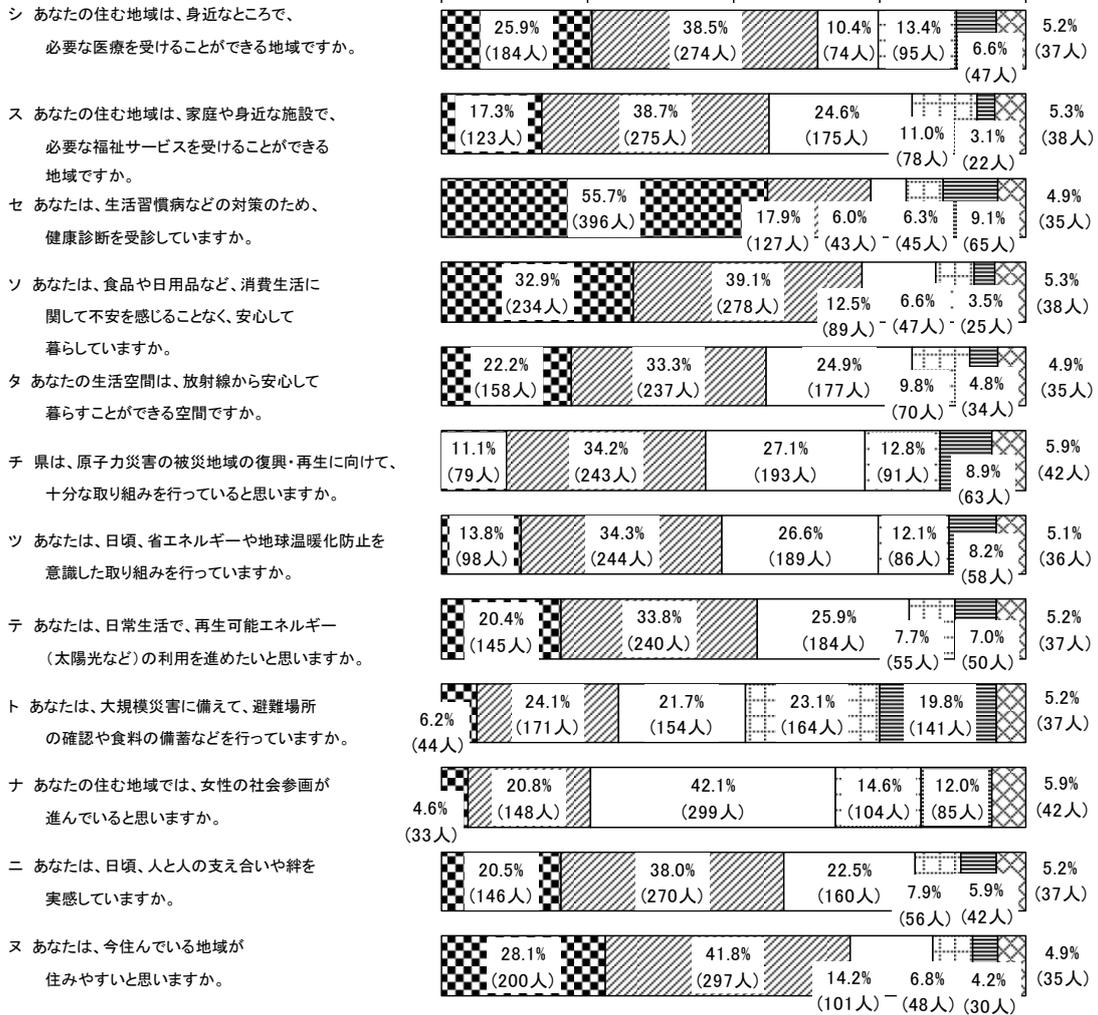
全体
(n=711)



全体
(n=711)



0.0% 25.0% 50.0% 75.0% 100.0%



「はい」と回答した人の割合は、〈イ あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いますか。〉(63.2%)が最も高く、6割強となっている。次いで、〈セ あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。〉(55.7%)と〈ア 福島県は、自然が豊かで、美しい景観を有する県であると思いますか。〉(53.7%)が5割台で続いている。

「はい」と「どちらかと言えば“はい”」を合わせた『はい』計の割合をみると、〈イ あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いますか。〉(90.3%)が最も高く、約9割となっている。以下、〈ア 福島県は、自然が豊かで、美しい景観を有する県であると思いますか。〉(87.6%)、〈セ あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。〉(73.6%)、〈ソ あなたは、食品や日用品など、消費生活に関して不安を感じることなく、安心して暮らしていますか。〉(72.0%)、〈キ あなたは、地元産の食材を積極的に使用していますか。〉(70.7%)が7割台、〈ヌ あなたは、今住んでいる地域が住みやすいと思いますか。〉(69.9%)、〈ウ あなたは、福島県内で子育てを行いたいと思いますか(あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います)。〉(66.2%)、〈シ あなたの住む地域は、身近なところで、必要な医療を受けることができる地域ですか。〉(64.4%)が6割台、〈ニ あなたは、日頃、人と人の支え合いや絆を実感していますか。〉(58.5%)、〈ク あなたは、国内外の友人・知人に対して、自信を持って紹介できる地元のもの(自然、特産品、観光、文化など)がありますか。〉(57.7%)、〈ス あなたの住む地域は、家庭や身近な施設で、必要な福祉サービスを受けることができる地域ですか。〉(56.0%)、〈タ あなたの生活空間は、放射線から安心して暮らすことができる空間ですか。〉(55.6%)、〈テ あなたは、日常生活で、再生可能エネルギー(太陽光など)の利用を進めたいと思いますか。〉(54.1%)が5割台となっている。

一方、「いいえ」と「どちらかと言えば“いいえ”」を合わせた『いいえ』計の割合は、〈カ あなたは、住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していますか。〉(67.5%)が最も高く、7割弱となっている。以下、〈オ あなたは、文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していますか(鑑賞を含む)。〉(49.8%)と〈ト あなたは、大規模災害に備えて、避難場所の確認や食料の備蓄などを行っていますか。〉(42.9%)が4割台で続いている。